

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 2 回 小金井学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)	児童青少年課
開催日時	平成 28 年 5 月 26 日 (木) 19 時 00 分～21 時 00 分
開催場所	801 会議室
出席者	委員 伏見委員長 竹ノ内副委員長 大澤委員 鈴木委員 仙澤委員 中山委員 中村委員 外山委員 関委員 岩野委員 百瀬委員 北村委員 吉村委員
	事務局 越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井市学童保育所運営検討委員会設置要綱</li> <li>・学童保育所運営業務委託評価報告骨子 (案) (市)</li> <li>・利用者からの育成料収入と委託経費について (学)</li> <li>・2016 年度第 1 回アンケート集計結果みなみ学童 (学)</li> </ul>
	<p>1 議事録作成の確認 4 月は市、5、6、7 月は学保連担当、これを繰り返す。</p> <p>2 学童保育所運営業務委託の検証について (市) 4 月に設置要綱を定め、学童保育所運営検討委員会を設置した。委員は部長、課長、職員 6 人以内、他に担当部長が認める者としている。4 月に 2 回、5 月に 2 回開催した。 (学) 検証の対象は、委託所だけか。直営所も含むのか。 (市) 委託所だけではなく、直営所も含む。サービスの拡充についても検証する。 (学) 検証の具体的なスケジュールは。 (市) 6 月を目途にまとめ、7 月の運営協議会で報告書を示したいと考えている。 (学) 報告書は業務委託検証結果報告書というイメージか。 (市) 指導員による実地検査結果、利用者アンケート結果、財政効果等、業務委託の成果について評価する。 (学) 財政効果について市と学保連で意見が割れていたが、両論併記するのか。 (市) 検討委員会として財政効果はまとめる。学保連の意見は学保連側でまとめていただければよい。 (学) 委員は市職員のみで、委託学童の職員は入らないのか。</p>

- (市) 予定はない。
- (学) 会議録は出すのか。
- (市) 運営協議会で順次示す。
- (学) 募集要項、事業者の選定基準、仕様書については検証項目に入っているか。
- (市) 大きなくくりとして入っている。
- (学) 学保連の意見は報告書に反映されるか。
- (市) 労使における検証も含め市内部の検証であり、学保連の意見を報告書に反映することはない。報告書を運営協議会に示すので、選考基準なども含めて意見をまとめてもらいたい。
- (学) 7月の報告書を受け、8月に学保連の意見を出したとして、9月の委託手続きに反映できるか。
- (市) こちらとしても意見は取り入れる考えだが、出来ることと出来ないことがあることはご理解いただきたい。
- (学) 定数関係の資料はまだいただけてない資料もある。
- (市) 出せる資料は示す。

### 3 利用者からの育成料収入と委託経費について

(学) 児童数が増え、育成料収入は増加しているが、委託学童では委託料は変わらない。このため職員を増やせず、結果として保育の質は下がっている。委託料に占める育成料収入の構成比を当初のまま保ちたい、つまり委託料も増やして欲しい。現状が市の見込みを超えており、想定外なのは理解している。

契約書にある個別協議条項に基づき、9月補正予算で、今年度の委託料増額を切にお願いする。事業者の負担過多による撤退がリスクとしてあり、それだけは避けたい。重ねてご検討をお願いしたい。

(市) ご意見として承る。

(学) 委託学童の指導員から、単年度毎に見直しをして欲しいとの意見も出ている。ご考慮をお願いしたい。

(市) 今年度の予算は暫定予算であったが、5/24に本予算が可決されたことに伴い、学保連からの予算要望については次回の運営協議会で回答する。

### 4 みなみ学童の委託について

(学) 29年度からの委託に関するアンケートをみなみ学童父母会がとったので結果を市にお伝えする。委託計画について認知度は高いが、情報不足と感じている保護者が多い。また、さわらび学童のことを踏まえ危機感を抱いている保護者も大多数いる。9月補正予算で委託関連経費を出すとする、市の意思決定前に丁寧な対応(事前説明)をお願いしたい。

(市) 今後の委託については、現在労使で検証しており、丁寧に対応して参り

たい。

(学) 父母が不安を持っていることは間違いない。労使の検証結果を早めに周知して欲しい。

(市) 労使の検証結果は、進捗状況にもよるがしかるべき時期に報告したい。

#### 5 各学童の新年度の状況について

(市) みなみ…3月に新施設へ引越し、約40人ずつの2所運営、概ね順調。あかねとみどり…4/26に事務打合せ(あかねとみどりの施設長と直営主査)を行い情報交換、概ね順調。5/12に事務連絡会(委託学童は施設長、直営学童から1人、児童青少年課)を行い、各所への事務連絡、各所の状況報告。5/17に事務打合せを行い情報交換。日頃より連絡を取り合い、コミュニケーションは取れている。

(市) さわらび…3月より引継ぎ。前事業者の2人の職員を雇用。また経験のある臨時職員、非常勤職員が配置されたので安定して4月を迎えられた。子どもも安定している。

・たけとんぼ…障がいのある児童が1年生4人入所、当初は大変だった。

・ほんちょう…今年度は本町小学校のランチルームをお借りして2所運営。ランチルームでの状況は概ね安定している。また2所となり、ほんちょう学童の方は子どもの数が少なくなり落ち着いている。

(市) さくらなみ…障がいのある児童7人。内4年生3人。4年生対応の臨時職員がまだ配置されていないが、特に問題は起きていない。

・たまむし…特段問題はない。

・まえはら…4/18、5/15に事務打合せを行った。委託料の問題はあるが、小金井の学童の勤務経験者が3人おり、保育状況は特に問題ない。

(学) 労使協議で検証をしっかりと行い、現場の意見を反映した形でお願いしたい。

(学) まえはら学童の父母の意見として、指導員には信頼を置いているが市に対しては不満が出てきている。午前中にひろば事業を行っているが、それにより職員同士の打合せ時間が減っていると聞いている。

(市) ひろば事業のために職員の打合せが減っていることは他学童でもあるが、午後から打合せを行うなどの工夫を行っている。

(学) 事業者には負担が増えているのではないかと父母が不安に思い、市への不信感に繋がっている。事業者の負担が過大にならないよう、市としても気を付けていただきたい。

#### 6 前回継続案件について確認

(学) ほんちょう学童の今後について進展はあるか。

(市) 現時点で報告できる内容はない。場所の確保は継続して検討している。

(学) 障がい児加配など各学童の指導員数について、前回資料のとおり職員が配置されているのか。直営、委託含め実員体制を教えてください。

(市) 次回の運営協議会で、職員体制を提示する。

(学) 大規模化に関して、放課後子ども教室と学童の連携について長期的にどう考えているか。

(市) 関連部門と連携して検討をしている。全体のビジョンを提示できる段階ではない。学童希望者は多いとの認識はあるが、施設拡大は難しいので放課後子ども教室の充実をお願いしている。

(学) 学保連として入所者数予測を提示している。大規模化対策が今後数年は最も重要な課題と認識している。5年スパンでのビジョンを進め、内容を委託事業の検証結果報告書に記載することもご検討いただきたい。

(市) 施設拡大は困難である。放課後子ども教室との連携等も検討していく。

(学) 指導員処遇改善に対する補助金制度が27年度から始まっている。小金井市は交付を受けているか。受けていないなら検討状況を教えてください。

(市) 受けていない。委託が27年度から始まっており、前年度からの比較ができない。28年度についてはこれから。

(学) 国では補助金の使用実績が上がらないとの話も聞く。一般財源負担も減るため前向きにご検討いただきたい。

(市) 市としても活用できる歳入は活用する。

(市) 運営基準について、みなみ学童の定員などがあり改訂する予定。他にも修正箇所があるなら併せて改訂したい。提案をお願いしたい。

## 7 次回日程

(市) 6月下旬を予定。